

令和2年度横浜市永田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

南区の75歳以上の人口割合は、横浜市内でも比較的高い地域であり、北永田地区、永田みなみ台地区、南永田山王台地区も高齢者の多い地域になる。各地区のほとんどが住宅地であり、長く定住されている方が多く、住民同士のつながりの強い地域性がある。また、地域の歴史や技能を地域全体で様々な機会を通して受け継いでいる風土もある。その一方、核家族化が進み、独り暮らし高齢者が増えてきている。各地区ともに担い手不足が深刻化し、新たな担い手の確保が急務となっている。また、外国人居住者も増えてきており、生活環境が変化してきている。

今後の方向性として高齢化が進んでいることから、地域ケア会議等で地域課題の解決を図り、認知症サポーター養成講座を継続して開催し、安心して住むことができる環境づくりを構築する。また、担い手不足が深刻なため、地域に向けてボランティア活動を紹介し、新たな担い手を発掘し活動に繋げていく。外国人居住者に対しては、気軽に話し合える場を提供するためサロンの開設を検討する。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座をキャラバン・メイトや地区社協と共催し、認知症についての正しい知識や対応について普及活動を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザでの相談だけでなく、自主事業・会議、地域の会合等さまざまな場面で相談を受け付け、状況に応じた情報提供を行い、地域にケアプラザの機能を知ってもらうことで活用を促す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャー勉強会『やまさかネット』をケアプラザの施設協力医と協働して月2回開催し、医療関係者と介護事業者との連携を図れ、利用者中心とした支援が円滑に行われるように関係を構築していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の福祉保健団体等と連携し、情報共有や地域のニーズを把握し、事業を共催するなどネットワークづくりに取り組む。また、区役所や社会福祉協議会との定例会議、民児協や連合町内会を通じて情報を共有する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	南区社会福祉協議会ボランティアセンターと連携を図りながら、ボランティアの育成と同時に、地域の中で負担のない見守り活動や、個別支援を支える地域ボランティア育成を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令によりほとんどの地域活動が中止となった。認知症サポーター養成講座はキャラバン・メイトや関係機関と様々な検討を行ったが今年度は概ね中止することとなった。自主事業や地域ケア会議、協議体なども感染拡大予防のため規模を縮小或いは開催することを断念した。ケアマネジャー勉強会『やまさかネット』は、協力医と相談し規模を縮小して継続することができた。定例会や民児協、連合町内会のイベントはほとんど中止となった。ボランティアについては、感染予防のため活動の場がほとんど無くなってしまったことにより、活動を自粛し、人材の発掘・育成を行うことが出来なかった。次年度は新型コロナウイルスの感染予防を徹底することで、停滞してしまった地域活動を少しでも再開できるよう支援を行う。また、永田地区の隅々まで援助の手が行き渡るよう地域との情報共有を行える環境を再構築する。

区からのコメント

コロナウイルス感染症の影響による地域活動の中止・縮小により当初の事業計画の実施ができなかったことと思います。また、永田エリアは広く、3地区の特徴も異なるとともに、高齢化率は最も高く、地域住民のコロナウイルス感染症への不安も大きく活動の再開に慎重になる傾向があるかと思えます。今後は、地域ケアプラザが主体となり開催できた南永田山王台地区の「お出かけ会議」のアンケートについて、地域住民の声を把握する重要なデータとして分析と検討を行い、次年度の事業計画に反映させて頂きたいと考えます。これまでどおり、地域に寄り添いながら地域活動の実施に向けた支援を様々な場面でを行い、地域ケアプラザが永田地区の住民にとって重要な拠点であることを認識して頂けるよう、今後も事業を通じた支援を切れ目なく行ってください。

令和2年度横浜市永田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>包括支援センターが要介護者等から相談を受け、委託先となる居宅介護支援事業所を選択するにあたり、適切な情報提供をおこない利用者や家族が自身の考えのもと選んでいただけるよう支援する。具体的には、『ハートページ』で情報提供を行い、多様な事業所から選んでいただく体制を整える。また、選択された事業所をカウントすることにより、大幅な偏りが発生しないようにチェックする。</p>	<p>事故防止策では、「横浜市地域ケアプラザ・事故防止の手引き」を職員がいつでも閲覧できる場所に置き意識向上に努める。また、「手引き」をテキストとして内部研修で活用し、事故の予防に努め、事故発生時には事故対応マニュアルに則り対応を行えるように備える。「防げる事故は起こさない」「事故は未然に防ぐ」を目的とし「ヒヤリハット報告書」を活用することでリスク管理を行いその防止に努める。</p> <p>事故発生時は、初動対応を正確かつ迅速に行い、関係機関に連絡、報告を義務づける。また、再発防止の為に「報告書」の作成を行い、職員全員に回覧する。通所介護では、事故防止の意識が向上するように月例の会議や毎日のミーティングで事故事例の検証や事故予防の啓発を行う。</p> <p>法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努める。個人情報のFAX送信時、郵送時には必ず二人体制でダブルチェックを行い、誤送付防止に努める。職員全体会議時に個人情報保護の取り扱いについての研修を行う。USBメモリは原則使用せず、特別に必要と認められる場合を除き(出前講座など)USBメモリの持ち出しをしないように徹底する。</p>
実績	<p>相談等で居宅介護支援事業所を選定するにあたり、相談者の意向を聞いた上、『ハートページ』を使用し事業所を選択していただくよう対応した。</p>	<p>事故対応では事故対応マニュアルに則り対応した。事故報告書やヒヤリハット報告書を活用して防止に努めた。個人情報保護では、ダブルチェックを行い誤送付防止に努め、個人情報の取り扱いの見直しなどを行い適切な情報管理を行った。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業では、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立支援を促す。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。要支援1・2、総合事業対象者の利用者は毎月230件前後の担当を行っている。このうち70%程度を居宅介護支援事業所に委託する。	ケアプラン作成にあたっては、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立を支援する。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。介護支援専門員常勤換算あたり1名の契約目標を要介護者を35名とする。また、包括支援センターと協働し、要支援の利用者8名程度担当する。
利用料金・実費負担		
職員体制	地域包括支援センター職員が中心となり、総合事業対象者や要支援の認定を受けた利用者のニーズを把握し、介護予防サービスを適切に受けられるように計画策定及び支援を行う。地域包括支援センターが担当している利用者については、居宅介護支援事業と協力し3職種の仕事に影響が出ないように調整しながら対応する。 管理者 1名 保健師(看護師) 1名 主任ケアマネジャー 1名 社会福祉士 2名	管理者 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤) 介護支援専門員 2名(常勤兼務1名)
契約者数	237名	128名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	通所介護では、『地域に必要とされるデイサービス』を目標に掲げ、安全で安心して利用できるデイサービスを目指す。利用者のニーズを十分に把握し、利用者一人一人に寄り添った支援を実践する。体操やレクリエーションを通じた機能訓練の充実や食事などの日常生活の支援を利用者の意向を踏まえ提供し、いつまでも健康で生活できるよう支援する。また、高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、地域での社会参加の機会を提供する。またサービスの質を向上させるため、定期的な職員研修を実施する。 安定した運営のために、新規利用者の継続的な確保、稼働率の向上を目指す。		
実施体制	【実施日数】 週 7 日 【提供時間】 9:30 ~ 16:30 【定員】 40名	【実施日数】 【提供時間】	【実施日数】 【提供時間】
利用料金・実費負担	【通所介護】 ● 1割負担分 (要介護1) 692円 (要介護2) 816円 (要介護3) 947円 (要介護4) 1,076円 (要介護5) 1,205円 ● 入浴介助加算 54円 ● サービス提供体制加算 I 2 13円 ● 食費負担 750円 【第1号通所介護】 ● 1割負担分 (要支援1) 1,766円 (要支援2) 3,872円 ● サービス提供体制加算 I 2 (要支援1) 52円 (要支援2) 103円 ● 食費負担 750円		
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 生活相談員 3名(常勤兼務3名) 看護職員 5名(非常勤兼務5名) 機能回復訓練指導員 5名(非常勤兼務5名) 介護職員 17名(常勤兼務3名、非常勤兼務14名) 運転手 6名 事務員 1名(常勤兼務1名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 9,346名 【契約者数】 214名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動交流＞

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
指定管理料	15,862,292	100,000	15,962,292	15,962,292	0	指定管理料
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)	0		0	0	0	なし
雑入	0	0	0	219,759	△ 219,759	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	31,169	△ 31,169	自動販売機手数料
その他	0		0	188,590	△ 188,590	法人負担額
その他	4,244,411		4,244,411	4,244,411	0	施設利用料相当額控除、GND事業、利用料金収入
収入合計	20,106,703	100,000	20,206,703	20,426,462	△ 219,759	

支出の部

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
人件費	11,258,000	0	11,258,000	11,968,836	△ 710,836	
本俸	7,791,000		7,791,000	8,006,307	△ 215,307	本俸
社会保険料	1,518,000		1,518,000	1,427,859	90,141	社会保険料
手当計	1,794,000		1,794,000	2,374,972	△ 580,972	諸手当・交通費・時間外
健康診断費	33,000		33,000	18,328	14,672	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	122,000		122,000	119,582	2,418	退職給付引当金繰入額
その他	0		0	21,788	△ 21,788	その他
事務費	930,000	0	930,000	912,734	17,266	
旅費	10,000		10,000	628	9,372	旅費
消耗品費	450,000		450,000	128,935	321,065	消耗品費
会議随い費	5,000		5,000	0	5,000	会議随い費
印刷製本費	23,000		23,000	9,284	13,716	印刷製本費
通信費	245,000		245,000	220,776	24,224	通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	0		0	0	0	なし
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	10,000		10,000	9,275	725	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	0	0	なし
振込手数料	7,000		7,000	990	6,010	振込手数料
リース料	169,000		169,000	0	169,000	リース料
手数料	11,000		11,000	0	11,000	銀行残高表手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	0		0	542,846	△ 542,846	その他
事業費	211,000	0	211,000	45,392	165,608	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	運営協議会経費
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	169,000		169,000	45,392	123,608	事業費
その他	0		0	0	0	なし
管理費	5,930,000	0	5,930,000	4,403,367	1,526,633	
光熱水費	3,395,000		3,395,000	2,571,593	823,407	光熱水費
清掃費	310,000		310,000	282,184	27,816	清掃費
機械整備費	150,000		150,000	110,954	39,046	機械整備費
設備保全費	1,775,000	0	1,775,000	1,133,186	641,814	
空調衛生設備保守	450,000		450,000	414,618	35,382	空調衛生設備保守
消防設備保守	230,000		230,000	94,895	135,105	消防設備保守
電気設備保守	480,000		480,000	444,588	35,412	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	70,000		70,000	38,932	31,068	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	545,000		545,000	140,153	404,847	その他保全費
共益費	300,000		300,000	186,870	113,130	共益費
その他	0		0	118,580	△ 118,580	wifi設備費
修繕費	474,000		474,000	86,900	387,100	修繕費
公租公課	900,640	0	900,640	1,196,883	△ 296,243	
事業所税	0		0	0	0	なし
消費税	900,640		900,640	1,196,883	△ 296,243	消費税
印紙税	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
その他	403,063		403,063	0	403,063	その他
支出合計	20,106,703	0	20,106,703	18,614,112	1,492,591	
差引	0	100,000	100,000	1,812,350	△ 1,712,350	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	169,000	0	169,000	45,392	123,608	
自主事業 収支	△ 169,000	0	△ 169,000	△ 45,392	△ 123,608	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	31,169	△ 31,169	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	31,169	△ 31,169	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,110,797		29,110,797	29,110,797	0	指定管理料
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	指定管理料
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	指定管理料
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【包括】	0		0	0	0	なし
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	0		0	0	0	なし
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	0		0	0	0	なし
雑入	0	0	0	484,668	△ 484,668	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	31,168	△ 31,168	自動販売機手数料
その他	0		0	453,500	△ 453,500	その他
その他	4,982,000		4,982,000	4,982,000	0	その他
収入合計	40,041,797	0	40,041,797	40,526,465	△ 484,668	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	36,253,797	0	36,253,797	27,392,534	8,861,263	
本俸	30,510,000		30,510,000	15,564,892	14,945,108	本俸
社会保険料	3,700,000		3,700,000	3,713,944	△ 13,944	社会保険料
手当計	1,670,797		1,670,797	7,539,211	△ 5,868,414	手当計
健康診断費	53,000		53,000	50,557	2,443	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	320,000		320,000	447,518	△ 127,518	退職給付引当金繰入額
その他	0		0	76,412	△ 76,412	その他
事務費	858,000	0	858,000	966,450	△ 108,450	
旅費	20,000		20,000	6,583	13,417	旅費
消耗品費	50,000		50,000	290,900	△ 240,900	消耗品費
会議随時費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	26,000		26,000	11,504	14,496	印刷製本費
通信費	300,000		300,000	188,927	111,073	通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	60,000		60,000	91,578	△ 31,578	備品購入費
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	16,000		16,000	9,275	6,725	施設賠償責任保険
職員等研修費	50,000		50,000	798	49,202	職員等研修費
振込手数料	10,000		10,000	2,860	7,140	振込手数料
リース料	182,000		182,000	0	182,000	リース料
手数料	10,000		10,000	0	10,000	手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	134,000		134,000	364,025	△ 230,025	その他
事業費	1,229,000	0	1,229,000	775,705	453,295	
協力医	630,000		630,000	462,000	168,000	協力医謝金
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【包括】	130,000		130,000	0	130,000	包括事業費
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	154,000		154,000	146,985	7,015	介護予防事業費
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	315,000		315,000	166,720	148,280	生活支援事業費
その他	0		0	0	0	なし
管理費	1,575,000	0	1,575,000	1,138,983	436,017	
光熱水費	739,000		739,000	683,587	55,413	光熱水費
清掃費	36,000		36,000	75,008	△ 39,008	清掃費
機械警備費	30,000		30,000	29,494	506	機械警備費
設備保全費	305,000	0	305,000	301,220	3,780	設備保全費
空調衛生設備保守	112,000		112,000	110,214	1,786	空調衛生設備保守
消防設備保守	30,000		30,000	25,225	4,775	消防設備保守
電気設備保守	115,000		115,000	118,178	△ 3,178	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	11,000		11,000	10,348	652	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	37,000		37,000	37,255	△ 255	その他保全費
共益費	49,000		49,000	49,674	△ 674	共益費
その他	416,000		416,000	0	416,000	その他
修繕費	126,000		126,000	23,100	102,900	修繕費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	なし
消費税	0		0	0	0	なし
印紙税	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
支出合計	40,041,797	0	40,041,797	30,296,772	9,745,025	
差引	0	0	0	10,229,693	#####	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	599,000	0	599,000	313,705	285,295	
自主事業 収支	△ 599,000	0	△ 599,000	△ 313,705	△ 285,295	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	31,168	△ 31,168	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	31,168	△ 31,168	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 横浜市永田地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市永田地域ケアプラザ

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8,384			7,485		7,485	14,786		14,786	85,930		85,930	8,208		8,208
	その他	0	0	0	0	0	0	193	0	193	10,364	0	10,364	1,236	0	1,236
	利用者等利用料収入	0		0	0		0	0		0	6,586		6,586	1,236		1,236
	受託事業収入	0		0	0		0	193		193	0		0	0		0
	職員給食費収入	0		0	0		0	0		0	177		177	0		0
	受取利息配当金収入	0		0	0		0	0		0	6		6	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	3,595		3,595	0		0
	収入合計(A)	8,384	0	8,384	7,485	0	7,485	14,979	0	14,979	96,294	0	96,294	9,444	0	9,444
支出	人件費	0		0	0		0	18,485		18,485	65,667		65,667	0		0
	事務費	0		0	0		0	1,777		1,777	3,294		3,294	0		0
	事業費	0		0	0		0	10		10	9,515		9,515	0		0
	管理費	0		0	0		0	0		0	13,900		13,900	0		0
	その他	7,676	0	7,676	6,618	0	6,618	0	0	0	3,985	0	3,985	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税	0		0	0		0	0		0	221		221	0		0
	介護予防プラン委託料	7,676		7,676	6,618		6,618	0		0	0		0	0		0
	職員給食費	0		0	0		0	0		0	177		177	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
その他	0		0	0		0	0		0	3,587		3,587	0		0	
支出合計(B)	7,676	0	7,676	6,618	0	6,618	20,272	0	20,272	96,361	0	96,361	0	0	0	
収支 (A) - (B)	708	0	708	867	0	867	-5,293	0	-5,293	-67	0	-67	9,444	0	9,444	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業
- 2 : 地域包括支援センター運営事業
- 3 : 生活支援体制整備事業
- 4 : 共催 (1と2)
- 5 : 共催 (1と3)
- 6 : 共催 (2と3)
- 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
- 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者
- 2 : 障害児・者
- 3 : 養育者及び乳幼児
- 4 : 子ども・青少年
- 5 : 地域
- 6 : 事業者
- 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	永田支えあい祭り	H15年	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりのため	5:地域	7:その他	実施内容:地域で活動している福祉保健活動団体をPRする場として、ブース出店(食べ物、手芸、健康チェック、おもちゃ病院など)、プラスバンド演奏・ダンベル体操・認知症サポーター養成講座などをおこなう。祭りの運営については、実行委員会形式ですすめ、地域を主体にしておこなう。 実施回数:1回 実施時期:4月18日(中止)	0	0
2	子育てサロンたんぽぽ	H14年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	未就園児とその保護者を対象にしたサロン。	3:養育者及び乳幼児	5:地域	ボランティアが子供達を見守り、自由に遊べるスペースを提供。また、月に1度、45分程度のお楽しみタイムを設ける。お楽しみタイムとは、水遊びやクリスマス会など季節に合った遊びを楽しむ。近隣の永田保育園やさくらザウルスから講師の方に来て頂いて、協力してもらう場合もある。 実施回数:24回 実施時期:毎月第1木曜日、第4水曜日	11	122
3	永田囲碁・将棋クラブ	H16年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:地域住民の交流	5:地域	1:高齢者	実施内容:大人向けの囲碁将棋クラブ 実施回数:24回 実施時期:第2・第3土曜日	10	21
4	親子料理教室	H17年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることが出来るよう支援する。	5:地域	5:地域	実施内容:未就学児の親子を対象に料理の楽しみを体験し、食の大切さを学ぶ。 実施回数:2回 実施時期:6月(中止)、11月(中止)	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
5	お楽しみ講座	H15年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:誰もが気軽に参加できる講座を行う事で、普段ケアプラザを利用していない方に、ケアプラザを知ってもらう機会とする。	5:地域	5:地域	実施回数:2回 実施時期:7月(中止)、2月(中止)	0	0
6	育児講座	H19年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:地域の子育て支援	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	実施内容:健康相談、離乳食、他 実施回数:2回 実施時期:7月、2月	0	0
7	障がい児支援企画「カフェ・スマイル」	H22年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:知的障害がある中高生および成人の居場所作り。 対象者:南区に在住の知的に障がいがある中高生および成人	2:障害児・者	5:地域	活動内容:ケアプラザで、プログラムは設けず、出入り自由に、好きな時に来て、過ごせる時間を過ごす。 実施回数:1回 実施時期:7月第4日曜日(中止)	0	0
8	ボランティア交流会	H15年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:ケアプラザで活動するボランティアの交流の場作り。	5:地域	5:地域	実施内容:活動しているボランティアとの意見交換会。 実施回数:2回 実施時期:7月(中止)、3月(中止)	0	0
9	子どもの見守りボランティア講座	H29年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:地域の活動においては、次世代を担う担い手の育成が急務となっていることから、新たなボランティアの担い手を発掘し、子育て支援の充実を図る。	5:地域	3:養育者及び乳幼児	実施内容:保育ボランティアを養成する。 実施時期:2回 実施時期:7月~9月(中止)	0	0
10	永田deはぐくむ わくわく教室	H29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	実施目的:赤ちゃん学級(1歳未満の第1子など)の対象とならない、あるいは卒業した保護者を対象に、(保育園入園前の)保護者同士の交流と地域とのつながりづくりを目指す。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	実施内容:講義や実習を通し、親と子が楽しく学び、集う講座を開催する。保育付講座とし、前述の保育ボランティア養成講座を受講した方の活動の場としてスタートさせる。また、運営については、3地区の子育てサロンの担い手にも関わってもらい、お互いのサロンの情報交換の場としても機能させることが望ましい。 実施時期:8回 実施時期:10月~3月	5	81

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	貸館利用団体交流会	H29年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:ケアプラザを利用する各団体が一堂に会し、情報共有を図るとともに、活動を促進し、地域福祉保健活動を推進する。	5:地域	7:その他	実施内容:各団体会員に参加を促し、団体活動のPRや意見交換をおこなう。 年1回 実施時期:未定(中止)	0	0
12	子ども青少年向け講座	H30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:小学校PTAと連携を図り、地域向けに講座を開催し、子どもの人権を守る、あるいは、暴力防止を考える機会とする。	4:子ども・青少年	5:地域	実施内容:CAP(子どもへの暴力防止を目的とした人権教育プログラム)等の啓発講座を想定。 年1回 実施時期:未定(中止)	0	0
13	外国につながるのある方交流事業	H30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:永田みなみ台地区には、外国につながるのある方が多数暮らしている。接点を持つ事で、ニーズを把握し、地域で支えるきっかけづくりを目指す。また、実施にあたっては、近隣の高校(横浜国際高校)のニーズを取り入れながら、連携を図る。	5:地域	7:その他	実施内容:地域の住民と当事者とか交流が図れるような講座(料理教室など)を開催する。 実施回数:1回 実施時期:未定(中止)	0	0
14	年末大掃除大会	H29年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:ボランティアをする機会の提供と参加者間の交流を図る。	5:地域	7:その他	実施内容:館内及び周辺道路の清掃と、掃除終了後に、茶話会を開催する。 実施回数:1回 実施時期:12月(中止)	0	0

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	永田ビエンナーレ国際児童画巡回展	H30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	実施目的:南区在住の外国人は年々増えており、現在、横浜市で3番目に多い状況である。永田にも多数の外国人が住んでいることから、永田に住む地域の方に、絵画を通して、外国を紹介し、国際理解と国際交流を図る。さらには、各施設との連携を深める機会とする。	4:子ども・青少年	5:地域	実施内容:カナガワビエンナーレ国際児童画展の選外作品100作品が寄贈されることになった。その絵画を小学校、中学校、幼稚園などで掲示してもらい、一定期間絵画展を開催する。 実施回数:年数回 実施時期:5月以降	0	0
16	出張相談	H15年	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	実施目的:ケアプラザの周知活動を実施するほ地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりを図る。	5:地域	1:高齢者	実施内容:地域の中で、ケアプラザのPRする場として、ブース出店。 実施回数:年1回 実施時期:10月	0	0
17	地域の集いの場マップづくり	H28年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	実施目的:これまで地域ケア会議や地区活動を通じて得られた情報をデジタルマップを使用し、地図上に整理する。	5:地域	1:高齢者	事業内容:地域ケア会議や協議体、地域の会合において、デジタルマップの情報を提供し会議に役立てる。 実施時期:通年	0	0
18	サロンづくりの支援	H28年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	実施目的:各地区で個人・町内会単位で「サロンを立ち上げたい」という話を聞く。サロンの立ち上げが実現できるよう、支援をする。	5:地域	1:高齢者	事業内容:地域の情報をもとに課題を整理して、地域で解決できるよう支援していく。 実施時期:通年	0	0
19	生活支援に関するボランティア講座	H28年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	実施目的:現在、すでに地域で活動している方の参加も含め「ボランティア」とは何か、「生活支援」とは何かをイメージできるような講座を実施する。	5:地域	1:高齢者	実施内容:ちよこっとボランティアのきっかけになるボランティア講座を実施する。 実施時期:3回シリーズ	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
20	認知症サポーター養成講座	H22年	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	実施目的:地域における認知症普及啓発を行っていく。	5:地域	1:高齢者	実施内容:地区社協、町内会、各老人会との共催することで認知症の普及啓発を地域に浸透させ、認知症になっても安心して生活できる町づくりを行う。 実施時期:各地区で2~3回(中止)	0	0
21	認知症キッズサポーター養成講座	H22年	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	実施目的:子供たちに認知症のことについて正しく伝えることで、身近にいる認知症高齢者に対して優しい気持ちで向き合えるようにする。また実際に認知症高齢者に出会った場合どのような対応をしたら良いか、考えてもらう。	4:子ども・青少年	1:高齢者	実施内容:永田小、永田台小の5年生、永田中の3年生を対象とする講座の開催 実施時期:2/22(永田小のみ実施)	1	70
22	ケアマネジャー勉強会	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	実施目的:ケアマネネットワークに登録している地域のケアマネジャーの自主的な活動とし、ケアマネジャーのスキルアップを目的とする。	6:事業者	7:その他	実施内容:輪番制で担当事業所を決め、事例検討を持ち込んでもらう。疾病勉強などケアマネ業務に関するものを勉強していく。また協力医である南永田診療所の水谷医師の協力を得てケアマネの医療に関する知識の向上につとめていく。 実施時期:月1~2回程度	18	59
23	民生委員とケアマネ交流会	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	実施目的:民生委員とケアマネジャーの交流を通して『顔の見える関係』を構築し、高齢者を支援しやすい環境を作る。	5:地域	6:事業者	実施内容:課題を共有し、各々の役割を十分に理解し地域支援に役立てる。 実施時期:年に1回(中止)	0	0
24	介護者サロン	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	実施目的:介護にかかわる地域の方を対象に介護についての悩みなどを共有し介護に役立てる。	1:高齢者	5:地域	実施内容:ケアプラザを会場として、介護者の話を包括職員が聴き、状況に応じてアドバイスを提供する。 実施時期:6/2、8/4、10/6、12/1、2/2	5	9

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることを
 ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
25	ダンベルさくら会	H31	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身近な町内会館で高齢者向けの運動を行うことで、体力維持と地域住民の交流の場を担う。(脳トレリズム運動、希望者は発表会参加可能。)	1:高齢者	5:地域	町内会館で高齢者向け運動を行ない体力維持と地域住民の交流の場を担う。(脳トレリズム運動、希望者は発表会参加可能。)	6	62
26	山玉台脳トレクラブ	H28	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	定期的な脳トレウォーキングを行ことで、認知症予防と近隣者同士の交流の場を担う(身近な場所で社会参加と介護予防活動の啓発)	1:高齢者	5:地域	定期的な脳トレウォーキングを行ことで、認知症予防と近隣者同士の交流の場を担う(身近な場所で社会参加と介護予防活動の啓発)	0	0
27	南永田脳トレウォーキング	H29	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	定期的な脳トレウォーキングを行ことで、認知症予防と近隣者同士の交流の場を担う(身近な場所で社会参加と介護予防活動の啓発。)	1:高齢者	5:地域	定期的な脳トレウォーキングを行ことで、認知症予防と近隣者同士の交流の場を担う(身近な場所で社会参加と介護予防活動の啓発。)	0	0
28	楽歩組・東・北	H31	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	第3町内から北永田エリアへ対象者を広げ毎週1回(月)2カ所の公園を隔週で開催することで広く対象者に普及を行う。	1:高齢者	5:地域	第3町内から北永田エリアへ対象者を広げ毎週1回(月)2カ所の公園を隔週で開催することで広く対象者に普及を行う。	3	44
29	永田みなみ台地区見守り隊	H24	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	認知症サポーター養成講座をきっかけに地域住民同士で組織された見守り・助け合い活動。運営委員会方式であり、定例会も含め参加することで、活動状況の把握、活動に対する支援を行なう。	1:高齢者	5:地域	認知症サポーター養成講座をきっかけに地域住民同士で組織された見守り・助け合い活動。運営委員会方式であり、定例会も含め参加することで、活動状況の把握、活動に対する支援を行なう。	7	88

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることを
 ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	サロン永田台	H28	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	永田台自治会主催のサロン。介護予防の講座を取り入れる・介護予防体操を実施できるよう、働きかけていく。	1:高齢者	5:地域	永田台自治会主催のサロン。介護予防の講座を取り入れる・介護予防体操を実施できるよう、働きかけていく。	0	0
31	北星谷町内会 北星会 体操クラブ	H30	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	老人会から派生した活動の支援。講師である地域のボランティアと老人会との関係づくりといった活動の支援をおこなう。	1:高齢者	5:地域	老人会から派生した活動の支援。講師である地域のボランティアと老人会との関係づくりといった活動の支援をおこなう。	0	0
32	ミニデイサービスなごみ	H16	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	介護保険で非該当の枠にあり、日中の居場所が少ない方の居場所として機能させる。	1:高齢者	1:高齢者	介護保険で非該当の枠にあり、日中の居場所が少ない方の居場所として機能させる。	6	171
33	地域のお出かけを考える会議	H30	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	移動支援に関する勉強会を通して、地域で移動支援について検討が必要とされている現状を把握する。自分たちの地域でどのような取り組みが出来るのかワークショップを通して考えるきっかけづくりを目指す。	5:地域	5:地域	移動支援に関する勉強会を通して、地域で移動支援について検討が必要とされている現状を把握する。自分たちの地域でどのような取り組みが出来るのかワークショップを通して考えるきっかけづくりを目指す。	11	104
34	お元気で21サロン	H30	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	サロン・体操を実施している団体に、認知症サポーター養成講座と介護予防に関する講座を取り入れることで、認知症に関する理解を深め、日々の活動が認知症予防につながることを伝える。また、見守り続ける地域の場が増えるように働きかける。	1:高齢者	5:地域	サロン・体操を実施している団体に、認知症サポーター養成講座と介護予防に関する講座を取り入れることで、認知症に関する理解を深め、日々の活動が認知症予防につながることを伝える。また、見守り続ける地域の場が増えるように働きかける。	0	0

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
35	スリーA教室	R1	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	認知症予防の取り組みを通じ、地域にとっての居場所となるように働きかける。講師は認知症予防スリーAのインストラクター。	1:高齢者	5:地域	認知症予防の取り組みを通じ、地域にとっての居場所となるように働きかける。講師は認知症予防スリーAのインストラクター。	3	42